

令和6年7月25日
伊予鉄バス株式会社
四国電力株式会社

愛媛県における路線EVバスの充電および運行最適化に向けた 実証事業の実施について

伊予鉄バス株式会社（以下、伊予鉄バス）および四国電力株式会社（以下、四国電力）は、国土交通省の「共創・MaaS実証プロジェクト（共創モデル実証運行事業）」を活用し、EVバスの充電および運行最適化に向けた実証事業を本年8月より実施することといたしました。

伊予鉄バスは、2023年1月に路線EVバスを導入するとともに、2027年度末までに段階的に合計50台を導入することとしており、運輸部門におけるCO₂の排出量削減に向けた取り組みを積極的に推進しています。

本実証事業では、伊予鉄バスが保有する路線EVバスならびに急速充電器を用いて、四国電力が主体となり、パートナー企業である株式会社 Shizen Connect、eMotion Fleet 株式会社、四電ビジネス株式会社の協力を得ながら、システム構築や運行実証を進めていくことといたします。

両社は、この度の実証事業を通じて、愛媛県における地域公共交通の脱炭素化を推進し、さらなる環境対応車両の導入ならびに持続的な公共交通の実現に貢献してまいります。

【本実証の概要】

実証期間	2024年8月～2025年2月
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> ・EVバス、充電器に係るデータの収集・分析・デジタル管理 ・急速充電の外部制御・充電の最適化に向けたエネルギー管理システムの構築 ・充電計画と運行計画を兼ね備えた車両運行の最適化に向けたフリートマネジメントシステム[*]の構築 <p>※事業用車両を適切に管理・運行するシステムのこと</p>
各社の役割	<p>(運行主体) 伊予鉄バス: EVバス・急速充電器等の実証フィールド提供</p> <p>(実施主体) 四国電力: 電力データ収集・分析、EVバス用の運行管理システム提供</p> <p>(パートナー) 株Shizen Connect: 急速充電の外部制御、エネルギー管理システムの開発 eMotion Fleet(株): 車両データの収集、フリートマネジメントシステムの開発 四電ビジネス(株): サービス化に向けた検討</p>